



淡海を守る
釣り人の会

SINCE 2015.12

主に県外から琵琶湖を訪れる釣り人が「琵琶湖・瀬田川への恩返し」をテーマに地域の皆さんと協働の水辺の清掃活動、環境に関するイベントの開催、滋賀県内ボランティア団体との協働、ライフジャケットの啓蒙、琵琶湖の情報共有などに取り組んでいます。

ロゴマークは唐橋がモチーフ。「地域と、自然と、次世代につながる」カッコイイ釣り人が目標です。

カッコイイ (つり) 人になる。

昨年初参加のびわこ会議で、「世界一の湖、びわ湖でカッコイイ (つり) 人になる！」という約束をしました。カッコイイつり人=地域や自然とつながり、それを次世代に伝えていくこと。今年「つり人から見たびわ湖の変化」を発表する機会をいただきました！



2017年のびわこ会議



2018年7月琵琶湖環境科学研究センターで琵琶湖のバス釣りガイドさんたちと琵琶湖の情報を共有



地域の皆様と協働の、釣り人による清掃活動。

ライフジャケット必須！

2018年1月 草津市志那湖岸清掃活動

昨秋の台風の影響で大量のゴミが打ち上げられており70名でペットボトル2010本 可燃ごみ340kg 不燃ごみ80kgを回収しました。



2018年5月 草津市志那湖岸清掃活動

総勢82名の自治体や地元ボランティア団体の皆様、釣り人、子どもたちが交流しながらゴミを拾いました。



2018年4月 唐橋公園清掃活動



雨天決行。釣り人だもの。



ご協力 (敬称略) : 河川財団、草津市、大津市、近江鉄道ゆうグループ、大津市公園緑地協会、草津湖岸コハクチョウを愛する会、瀬田川リバプレ隊、琵琶湖河川レンジャー、TANAKAMI こども環境クラブ、ウォーターステーション琵琶、雑貨屋アミダ

ミツカン水の文化センター機関誌『水の文化』で「ゴミを拾う釣り人たち」としてご紹介いただきました。PDF版をダウンロードしてぜひご覧ください。
<http://www.mizu.gr.jp/kikanshi/>



ヨシ刈り&外来植物の学習。

2018年2月10日 NPO法人瀬田川リバプレ隊様主催の瀬田川のヨシ刈りと清掃活動に参加。シジミ汁をいただきながら中井克樹先生による外来植物に関する講義を拝聴しました。



ヨシ紙を知って、学んで、楽しむ。

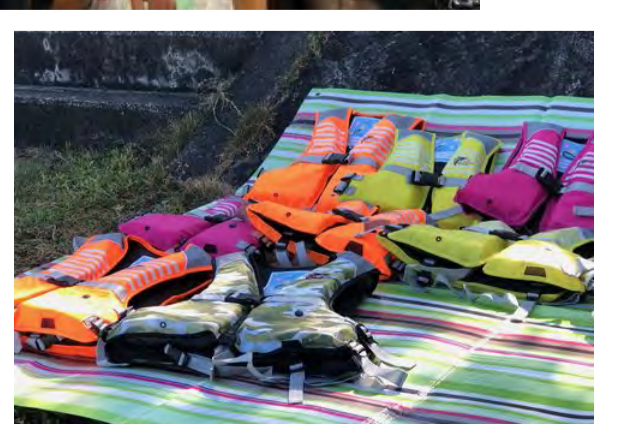
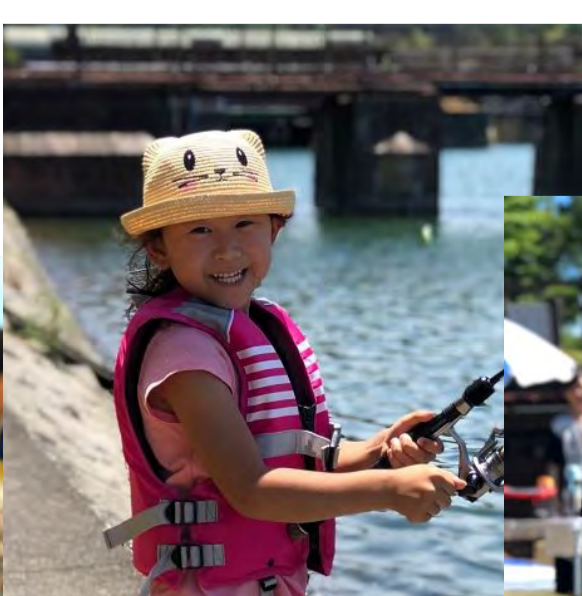
2017年12月2日 琵琶湖博物館で「ヨシ紙で年賀状・クリスマスカードを作ろう」ワークショップを開催し、134名の方に楽しんでいただきました。ライフジャケットの啓蒙活動も行いました。



ご協力 (敬称略) : 琵琶湖博物館、ウォーターステーション琵琶、琵琶湖遊漁船業協会

水辺の楽しさ、釣りの感動、水の怖さを、子どもたちに伝えたい。

2018年7月22日 ウォーターステーション琵琶の会様・琵琶湖河川事務所様主催の「水辺の匠」でルアーの色ぬりと、ルアーを瀬田川で投げしてみるという2つのワークショップを出版。世界で一つだけのルアーをつくって、本格的な釣り道具でルアーを投げる練習を楽しんでいただきました。もちろん、全員ライフジャケット着用です。



ご協賛企業 (敬称略) : グロープライド株式会社、株式会社ジャッカル、株式会社デブス、ピュア・フィッシング・ジャパン株式会社、エムワイズ、バスフィールド

